

# 諫早総合病院地域医療支援病院運営委員会

## 令和7年度第2回会議議事録

日 時：令和7年8月21日（木）15：30～16：00

会 場：諫早総合病院 6F 大会議室

書 記：総務企画課 山田 ちから

1. 参 加 者 別添資料のとおり（院外6名・院内3名・事務局3名）

2. 院長挨拶

3. 議 事

### （1）紹介率・逆紹介率について

事務局）紹介率につきましては、前年度と比較し、4～6月の平均が-8.3%と減少いたしました。紹介件数においては、6月で前年より増加しております。診療科別では、前年度と比較しまして、消化器内科、整形外科、産婦人科、耳鼻咽喉科が減少しております。

逆紹介率につきましては、前年度と比較し、4～6月の平均が前年より+3.1%増加しており、逆紹介件数においても4～6月で前年より増加しております。

診療科別では、内科、整形外科、皮膚科が前年度より大きく増加しております。

紹介率・逆紹介率の報告は以上です。

長郷院長）紹介率・約紹介率について、少し減っているというところですが、消化器内科はもともとの件数が多かったので許容範囲内の減少ではないかと思う。整形外科は当院でやっていない脊椎外科が直接開業医に紹介されて行っているのではないかという話になっている。産婦人科は今まで特に変わったことはやってなく、島原の病院が閉院したので増えると思っていたがあまり影響がなかった。耳鼻咽喉科に関しては、2名体制だったのが今年度から1名になり大きい手術ができない状態になっているので件数が減っている。整形外科は、宮崎病院に脊椎の先生が4月から移ったということもあってそちらに紹介で行く人がいる。内科は外来が朝からごった返して当院の収容能力を超えているので、開業医の先生にお願いして経過を見てもらい、必要な時に当院に紹介していただくという体制を進めていこうという方向でやっている。

長郷院長）基本開業医の先生からの依頼は断らない、紹介から受入の時間も短縮し2週間以上は待たせないということをやっている。

## (2) 救急患者・外来患者について

事務局) 全体の救急患者数は前年度と比較しまして、減少しております。こちらをウォークインと救急車別に見ると、ウォークインは4月が+29件、5月が+1件、6月が-6件となっており、救急車は4月が-4件、5月が-30件、6月が-26件となっております。次に救急外来を受診した患者の入院割合は約4割が入院している状況となっております。続いて時間外に来院した患者を時間帯別に表したグラフになりますが、一月の時間帯別の平均患者数は、平日早朝が9.6人、平日夜間が121.0名、平日深夜が64.0名、休日早朝が9.3名、休日昼間が112.3名、休日夜間が54.7名、休日深夜が30.7名となっております。続いて時間外に来院した患者を時間帯別に、諫早市在住か、そうでないかを表したグラフになります。4月から6月の一月の時間帯別の平均患者数は、平日早朝は諫早市内が9.3名、諫早市外が0.3名、平日夜間は市内が100.7名、市外が20.3名、平日深夜は市内が51.3名、市外が12.7名、休日早朝は市内が8.3名、市街が1.0名、休日昼間は市内が85.3名、市外が27.0名、休日夜間は市内が43.0名、市外が11.7名、休日深夜は市内が22.7名、市外が8.0名となっております。続いて一日当たりの平均外来患者数については、前年度と比較し、4月が+2.5人、5月が+12人、6月が-16人となっております。

長郷院長) 4~6月の平均外来患者数についてはは昨年度と比べて大きい変化はなかった。救急外来の入院割合は若干ではあるが減っていつているので、これはベッドが詰まっており、ベッドの利用率が低いときには受け入れたいと思っているが、なかなか利用率は変わらない。時間外に関しては、休日は市内の平日夜間は市外の割合が17%、平日深夜は20%、休日深夜は26%と夜の時間帯になると島原半島で受け入れるところが減り、こちらに来るケースが多い。救急隊としては今の動きに関してはいかがでしょう。

岩岡委員) 島原半島は病院が少ないということで、どうしても夜間はこちらに来ることになる。

堀委員) 先日別の会議ででしたのですが、コンビニ受診がこういった数字に影響しているのでしょうか。

長郷院長) 当院は、管理当直と救急に待機という形でやっているが、人がいっぱいいる病院でないと夜間の診療や救急対応が難しい。また、専門でないから診られないと簡単に断るケースもあちこちで起こっている。うちの病院としては、総合診療科を増やしていければと思っている。

### (3) 共同利用について

事務局) 前年度の4~6月と比較し大きな変化はありません。CT・MRIの利用件数にしましては、前年より減少しております。

長郷院長) CTの件数が減っているのは、機器の入れ替え工事があったため。

### (4) 諫早市こども準夜診療センターについて

事務局) 前年度の4~6月と比較し減少傾向となっております。

長郷院長) こども準夜センターについては、コロナ前と比べて受診が減っている。減ってはいるが、平均すると1日4名くらいの受診者となる。これを、当院の小児科医4名で診るとなると4日に1回当直をしないといけないことになり、立ち行かなくなる。当院が小児科を継続していくためには続けていく必要がある。

### (5) 患者相談実績について

事務局) 入院ベッドの稼働状況に応じて件数が変化しておりますが、おおむね前年度と同じような件数となっております。報告については以上です。

長郷院長) 今てこずっているのは、どんなことですか。

事務局) 2, 3年前から単身の高齢者が増えており、それに伴って身寄りのない方や金銭管理の問題があって、それに付随して入院期間が延びている。また、お金はあるがそれを管理できる人がいない状況も多く、制度の利用に時間がかかることも入院の長期化の要因となっている。

### (6) 研修会開催状況について

事務局) 続きまして研修会の開催状況について報告いたします。今年度も当院認定看護師による院外関係者向けのWEB研修や、医療機関・施設向けの出前講座を行っております。また9月20日に認知症講演会を実施予定となっております。報告は以上です。

長郷院長) 介護施設向けの啓発活動も進めていきたいと思う。

長郷院長) 参考にですが、救急隊は何かそういったことはされているのでしょうか。

岩岡委員) 消防署に来ていただいて研修会等を実施しております。また、講話の依頼があれば、救急に限らず行っている。

長郷院長) 歯科医師会はどうですか。

土肥委員) 先日こちらで会議をさせていただきました。

長郷院長) 薬剤師会はどうでしょうか。

堀委員) 130 くらいサロンがあり、出前講座を 10 回から 15 回くらいやっています。

長郷院長) 何かこういうのをしたいとか森委員の方からありますか。

森委員) 少子化や高齢化が進んでいくなかで、一人で苦しんでいる方・出てこられない方を支援していく必要があるのかなど。

長郷院長) 情報を知っている人と知らない人で差が出てきてしまう。特に独居の高齢者の方の情報把握は難しいでしょうけど、何か市の方ではないでしょうか。

佐藤委員) 諫早市では独居の方の情報を自治体の方で集約をして、何かあった時の連絡先を聞いている自治体があると聞いている。諫早市としては、ご近所の方から直接情報をいただくのが一番で、直接助ける情報としては力強いので、地域のサロンや地域のつながりを作ってくださいと発信しているところであります。

## (7) その他

長郷院長) 議事の方は終わりましたが、その他何かありますか。

川下委員) 先日救急車でこちらにきたのですが、お医者さんがきちんとデータを見ながら、画像を見せながら丁寧に説明してくださいました。診察を受ける側は色々と不安ですが、そういう心配をしないでいいような説明をしてくださいました。それから、1 週間ほど入院したのですが、看護師さんたちに心地良い看護をしてもらって、これなら長く入院してもいいなと思いました。

長郷院長) ありがたいコメントありがとうございます。

長郷院長) 他に何かありますか。本日も皆さんから積極的にご意見を拝聴し、今後の病院経営に役立てたいと思います。ご参加いただきありがとうございます。